

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人 協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信夫
両団体理事長 半田 晴久
教育部会長 若林 克彦
両団体専務理事 清原 淳平

教育部会のお知らせ (第336回)

日時 平成29年10月27日(金) 午後2時半～4時
場所 参議院議員会館 地下1階 B101会議室
千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より下車5分、
永田町駅(有楽町線・南北線)①番出口より下車2分。当日、
午後2時15分より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げま
す。時刻前に到着された方は、恐縮ですが、金属探知機通過後、
受付脇のロビーにてお待ちください。会議開始後にお越しの方
は、受付に「B101会議室に行きたい」旨、お伝え下されば、
お迎えにまいります。

議題 1、最近の高等教育改革について思う
挨拶 若林克彦部会長(国士舘大学元学長)
2、高等教育の将来構想に関する基礎データ
解説 若林克彦部会長

報告 7月28日開催の、第335回教育部会は、若林克彦部会長が
議長を務めて行われました。まず、若林部会長より、「最近の高
等教育改革について思う」と題して解説がありました。教育再生
実行会議は、4年前に設置されて以来、政策決定に結び付く提言
を発信している。今回の第9次提言は、人工知能の進化など、さ
まざま仕事が機械に代替される中で、創造性や感性などの代替で
きない能力が、特に優れた能力を持つ子供をいかに伸ばすか、と
いう点に力点が置かれているようだ。大学改革関連では、理数系
の優れた学生の飛び級入学を認めるか、などが含まれている。

次に、若林部会長より、「教育再生実行会議・第九次提言」について解説がありました。様々な仕事が機械に代替される社会では、多様性が発展の原動力であるとして、発達障害や日本語能力が不十分な外国人子弟の教育の重要性が強調されている。これら生徒の情報は乳幼児から高校までカルテとしてデータを引き継ぐことを義務化している。次に、学力差に応じたきめ細かい指導の必要性が指摘されている。特に、学校の授業に物足りなさを感じ学習塾に通うことが、重い教育費負担として家庭にのしかかる。それが理由で進学できない事例をなくすことも重要視されている。習熟度に合わせた少人数制の指導も検討している。さらにレベルが高い学生には、大学への飛び級入学を認めるか、アメリカで行われている高校で大学レベルの指導を行い、それを大学の単位として認める制度も検討されている。卓越大学や卓越科学研究大学も現在15校が指定されており、取り組みを継続していく。リーダーシップ能力の向上という意味では、留学支援制度を推進する。

その後、一同にて以下の趣旨の意見交換が行われました。○全体として、総花的ではあるが、具体的にどうすれば改善するのか、という指摘は薄い印象がある。○外国人の流入によって日本人の働き場が奪われる可能性もある。人材育成は国家の死活問題だ。○中国では15歳で大学に通っている人間もいる。過酷な受験競争もあるが、そのような競争が中国の大学ランキングを押し上げているといえよう。日本でも卓越大学は年齢制限を撤廃してはどうか。○高校では授業数を減らして教員の過重労働を減らそうとしているようだが、授業が減った分は教材研究や研修に充てられ、結局多忙さは大して変わらない。○最高水準の教育展開が見込まれる大学の指定に私立が含まれていないことに不満がある、等々の意見が出ました。

★資料代 会員は**五百円**に ご協力御願ひ申し上げます。

次回、10月27日（金）の教育部会に

出・欠（いずれかに○印）

事務局宛 F A X 03-3507-8587

御芳名 _____

貴方様の F A X _____

電話 _____

**テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。非会員で
参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。**

（その場合の当日会費は二千元となります）

当日連絡先 080-8836-6203 又は 080-9292-2620